

東京電機工業株式会社

2023年度

環境経営レポート

対象期間 2023年4月1日 ～ 2024年3月31日

発行日 2024年6月19日
改訂日 2024年8月23日

東京電機工業株式会社



目次	P1
<u>1. 組織の概要</u>	P2
(1) 事業者名及び代表者名	
(2) 所在地	
(3) 環境保全関係の責任者	
(4) 事業内容	
(5) 事業の規模	
(6) 実施体制図	
<u>2. 認証登録の対象範囲</u>	P3
<u>3. 環境経営方針</u>	P4
<u>4. 環境経営目標と実績値</u>	P5
<u>5. 環境経営計画</u>	P6
<u>6. 環境経営目標の実績</u>	P7
<u>7. 環境経営計画の取組み結果とその評価、次年度の取組み内容</u>	
(1) 環境経営計画の取組み結果とその評価	P8
①地球温暖化防止の為に無駄なエネルギー消費の削減	
②資源の循環	
③省資源	
④化学物質の維持管理	
(2) 次年度の取組み内容	P9
①地球温暖化防止の為に無駄なエネルギー消費の削減	
②資源の循環	
③省資源	
④施工及び提供する製品における環境配慮	
⑤化学物質の維持管理	
<u>8. 環境関連法規制等の順守状況</u>	P9
(1) 環境関連法規等の順守状況及び評価結果	
(2) 違反訴訟等の有無	
<u>9. 代表者による全体の評価と見直し・指示結果</u>	P10

1. 組織の概要(2023年4月1日～2024年3月31日)

(1) 事業者名及び代表者名

東京電機工業株式会社

代表取締役社長 諏訪 良介

(2) 所在地

本 社 兵庫県姫路市網干区新在家355－2

ダイセル網干工場 現場事務所 兵庫県姫路市網干区新在家1239

ダイセル播磨工場 現場事務所 兵庫県たつの市揖保川町馬場805

(3) 環境保全関係の責任者

責任者 代表取締役社長 諏訪 良介

TEL :079－272－0272

(4) 事業内容

電気工事・計装工事

電気機器修繕

分電盤・制御盤製作

(5) 事業の規模

年 商 2億0,333万円(2023年度)

従業員数（役員含む） 13名

本 社 5名

ダイセル網干工場 現場事務所 5名

ダイセル播磨工場 現場事務所 3名

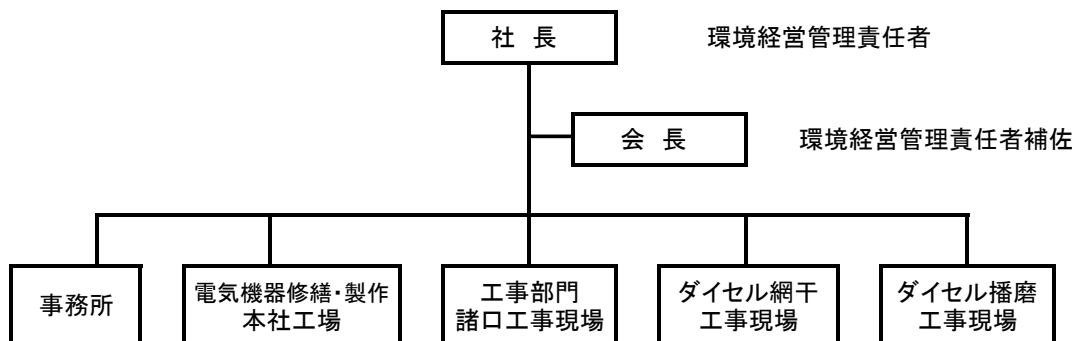
工場・事務所敷地面積 3, 170 m²

本 社 2, 600m²

ダイセル網干工場 現場事務所 455m²

ダイセル播磨工場 現場事務所 115m²

(6) 実施体制図



	役割・責任・権限
環境経営管理責任者	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムを構築し、実施・管理 ・経営における課題とチャンスの明確化 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員への周知 ・環境経営目標・環境経営活動実施計画書の作成 ・環境経営関連法規等チェックリストの作成 ・環境への負荷と取組の自己チェックの実施 ・代表者による全体の評価と見直し・指示を実施 ・環境経営活動実施計画の実績集計 ・年間教育訓練計画の作成 ・年間教育訓練計画の記録 ・経営資源の提供
環境経営管理責任者補佐	・環境経営管理責任者を補佐し、多忙の場合は、代理でその任を行う。
部門責任者	・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門に関連する環境経営目標及び環境経営活動計画の実施と、達成状況の報告 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置
全従業員	・環境経営方針を理解し、環境への取組の重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

(7)事業年度 4月～翌年3月

2. 認証登録の対象範囲

- | | | |
|-----|----------|--------------------------|
| (1) | 認証・登録事業者 | 東京電機工業株式会社 |
| (2) | 対象事業所 | 本社、網干工場現場事務所、播磨工場現場事務所 |
| (3) | 事業活動 | 電気・計装工事、電気機器修繕、分電盤・制御盤製作 |

3. 環境経営方針

東京電機工業株式会社 環 境 経 営 方 針

環境保全が経営の重要課題であることを踏まえ、経営における課題とチャンスの明確化を定期的に行い、環境経営システムを構築・運用し、全社一丸となって自主的・積極的に環境保全活動に取り組みます。

当社の事業活動(電気工事・計装工事・電気機器修繕・分電盤、制御盤製作)における環境負荷の低減のため、行動指針を次のように定めます。

1. 環境関連法規や当社が約束したことを守ります。
2. 環境経営目標を定め、定期的に見直しを行い、継続的改善に努めます。
3. 具体的な取り組みとして次のことを推進します。

(1) 地球温暖化防止の為に無駄なエネルギー消費の削減

- ① 自動車のガソリン・軽油消費量
- ② 暖房用灯油消費量
- ③ 電気の使用量

(2) 資源の循環

- ① 循環資源(電線・鋼材・プラスチック・紙等)の分別廃棄
- ② 循環資源の有効利用
- ③ 一般廃棄物及び産業廃棄物の削減

(3) 省資源

- ① 水道水消費量の削減

(4) 施工及び提供する製品における環境配慮

- ① グリーン購入の推進

(5) 化学物質の適切な維持管理

- ① 使用実績の適切な把握
- ② 適切な維持管理

4. 当社のために働くすべての従業員にこの環境経営方針を周知します。

制定 : 2006年 4 月 1 日

改訂 : 2022年 4 月 1 日

代表取締役社長 諏訪 良介

4. 環境経営目標と実績値

当社は、“請負業”が主体です。環境経営目標につきましては、前年度の実績値を、“当年度の目標値”に設定し活動を行っています。2023年度の目標値は、2022年度の実績値を目標値としました。(数値は、全社トータル値です。)

作成者： 諏訪 芳一

環境経営方針	環境経営目標	責任者	基準項目	年度	目標値	実績値	実行項目
1. 省エネルギー	二酸化炭素排出量の削減	環境管理責任者	二酸化炭素排出量 (kg-CO2)	基準値(2005年度)		27,269	1. 電力の低減 2. ガソリンの無駄な使用の削減 3. 灯油の削減
				2020年度	17,945	17,148	
				2021年度	17,148	17,198	
				2022年度	17,198	15,213	
				2023年度	15,213	17,921	
	1) 電力の低減	工場 森下 浩貴 事務所 諏訪 早苗	電力の使用量 (kWh)	基準値(2005年度)		12,584	・無人時の消灯 ・クーラー使用の低減
				2020年度	11,329	9,562	
				2021年度	9,562	8,855	
				2022年度	8,855	8,730	
				2023年度	8,730	8,916	
	2) ガソリンの無駄な使用の削減	各部門の環境責任者	ガソリンの使用量 (L)	基準値(2005年度)		9,089	・燃費のチェック ・相乗り励行 ・不要物を載せない
				2020年度	5,089	5,033	
				2021年度	5,033	4,774	
				2022年度	4,774	4,807	
				2023年度	4,807	5,498	
	3) 灯油の削減	各部門の環境責任者	灯油の購入量 (L)	基準値(2005年度)		1,056	・無人の時は消火 ・ウォームビズの推進
				2020年度	793	889	
				2021年度	889	585	
				2022年度	585	516	
				2023年度	516	932	
	4) 軽油の削減	各部門の環境責任者	軽油の購入量 (L)	基準値(2005年度)		0	・無駄に使用しない
				2020年度	141	84	
				2021年度	84	716	
				2022年度	716	0	
				2023年度	0	0	
2. 資源の循環	廃棄物の削減	環境管理責任者	廃棄物の発生量 (t)	基準値(2005年度)		3.32	1. 一般廃棄物の削減 2. 産業廃棄物の削減
				2020年度	27.22	14.66	
				2021年度	14.66	17.75	
				2022年度	17.75	14.42	
				2023年度	14.42	23.99	
	1) 一般廃棄物の削減	工場 森下 浩貴 事務所 諏訪 早苗	廃紙量	基準値(2005年度)		0.21	・節紙の徹底 ・コピー間違いの低減 ・コピー前にコピー機の設定確認
				2020年度	0.16	0.16	
				2021年度	0.16	0.16	
				2022年度	0.16	0.15	
				2023年度	0.15	0.15	
	2) 産業廃棄物の削減	各部門の環境責任者	産業廃棄物の発生量 (t)	基準値(2005年度)		0.00	・分別廃棄物の明確化 ・分別廃棄の意識付け ・産廃の教育
				2020年度	21.40	13.90	
				2021年度	13.90	14.56	
				2022年度	14.56	13.46	
				2023年度	13.46	23.08	
	3) 有価物処理量の削減	各部門の環境責任者	有価物の発生量 (t)	基準値(2005年度)		3.11	・端尺材利用の徹底 ・ムダの少ない寸法取り
				2020年度	5.66	0.60	
				2021年度	0.60	3.03	
				2022年度	3.03	0.81	
				2023年度	0.81	0.76	
3. 省資源	水道水の削減	石見 元希	水道使用量 (m³)	基準値(2005年度)		38.0	・トイレの漏水対策 ・漏水のチェック ・雨水の活用
				2020年度	40.7	32.6	
				2021年度	32.6	31.8	
				2022年度	31.8	28.9	
				2023年度	28.90	28.9	
4. 施工及び提供する製品における環境配慮	1) グリーン購入の推進	環境管理責任者	購入率 (%)	基準値(2010年度)		0	・再生紙の購入率拡大
				2020年度	100	100	
				2021年度	100	100	
				2022年度	100	100	
				2023年度	100.00	100	
5. 化学物質の適切な維持管理	使用実績の適切な把握と維持管理	環境管理責任者	塗料シンナー購入量 (kg)	基準値(2010年度)		10.56	・使用実績の適切な把握
				2020年度	1.88	4.47	
				2021年度	4.47	3.35	
				2022年度	3.35	4.57	
				2023年度	4.57	2.92	

5. 環境経営計画

- ・2023年度の活動の目標値は、2022年度の実績値を目標値として、活動を行った。
- ・主な活動内容は、以下のとおり。

1. 省エネルギー

〔二酸化炭素排出量の削減〕

- 1) 電力の低減
- 2) ガソリンの無駄な使用の削減
- 3) 灯油の削減
- 4) 軽油の削減

2. 資源の循環

〔廃棄物の削減〕

- | | |
|--------------|--|
| 1) 一般廃棄物の削減 | ① 節紙の徹底
② コピー間違いの低減
③ コピー前にコピー機の設定確認 |
| 2) 産業廃棄物の削減 | ① 分別廃棄物の明確化
② 分別廃棄の意識付け
③ 産廃の教育 |
| 3) 有価物処理量の削減 | ① 端尺材利用の徹底
② ムダの少ない寸法取り |

3. 省資源

- | | |
|---------|------------------------------------|
| ・水道水の削減 | ① トイレの漏水対策
② 漏水のチェック
③ 雨水の活用 |
|---------|------------------------------------|

4. 施工及び提供する製品における環境配慮

- | | |
|--------------|-------------|
| 1) グリーン購入の推進 | ① 再生紙の購入率拡大 |
|--------------|-------------|

5. 化学物質の適切な維持管理

- ・使用実績の適切な把握
- ・適切な維持管理

6. 環境経営目標の実績

当社に於ける環境経営目標と実績は、次の通り。

項 目 \ 年 度			2023年度			2024年度	2025年度	2026年度	
			(単位)	(目標)	(実績)	(達成率)	(目標)	(目標)	
二酸化炭素排出量			kg-CO ₂	15,213	17,921	84.9%	17,921	2024年度 実績を 目標とする	2025年度 実績を 目標とする
電力			kg-CO ₂	2,776	2,835	97.9%	2,835		
			kWh	8,730	8,916	97.9%	8,916		
	化石燃料	合計	kg-CO ₂	12,437	15,086	82.4%	15,086		
灯油		L	516	932	55.4%	932			
ガソリン		L	4,807	5,498	87.4%	5,498			
軽油		L	0	0	－	0			
廃棄物排出量			トン	13.61	23.23	58.6%	23.23		
一般廃棄物	合計	トン	0.152	0.150	101.3%	0.150			
	紙 (再生利用)	トン	－	0.000	－	－			
	その他 (単純焼却)	トン	－	0.150	－	－			
産業廃棄物	合計	トン	13.46	23.08	58.3%	23.08			
	再生利用	トン	－	0.00	－	－			
	埋立・焼却 等	トン	－	23.08	－	－			
有価物の処理量			トン	0.81	0.76	106.3%	0.76		
水道水使用量			m ³	28.90	28.90	100.0%	28.90		
再生紙購入率拡大			%	100	100	100%	100		
化学物質使用量			kg	4.57	2.92	156.5%	2.92		

(注記) ☆ 当社は、請負仕事であり、その内容、量によってCO₂・廃棄物の量が変わり、目標値を設定しにくいので、前年度の実績値を目標値としている。

◎CO₂排出係数：電力 0.318kg-CO₂/kWh(関西電力2019年度)、灯油 2.49kg-CO₂/L、ガソリン 2.32kg-CO₂/L、軽油 2.58kg-CO₂/L

◎二酸化炭素排出量は、13%減少した。

☆電力、灯油、上水ともに、減少したが、ガソリンが若干増加し、軽油の使用はなかった。

◎コピー紙は再生紙の購入を心掛けているが、その他の紙類については記録が不十分である。

◎化学物質の使用は、塗料・錆び止め・シンナーであり、その内訳は、キシレン、1,2,4-トリメチルベンゼン、1,3,5-トリメチルベンゼンなどである。

7. 環境経営計画の取組み結果とその評価、次年度の取組み内容

取 組 計 画	取組み結果	評 価	次年度の取組
①地球温暖化防止の為の無駄なエネルギー消費の削減			
1. 二酸化炭素排出量 ・下記の通り	・達成率84.9%	15.1%増加している。電気、ガソリン、灯油とも増加している。	☆下記の通り
2. 電気の使用量 ・無人時の消灯	・達成率97.9%	・2.1%増加している。夏のエアコン使用が一つの原因と思われる。無人時の消灯は徹底できている	☆無人時の消灯の徹底・継続
3. ガソリン・軽油使用量 ・燃費のチェック ・エコドライブの励行	ガソリン達成率87.4%	・12.6%増加している。夏のエアコン使用が一つの原因と思われる。 ・燃費の記録はされている。	☆燃費を着実に記録し、チェックの続行 ☆エコドライブの励行を続行
4. 灯油の購入量 ・無人時は、消火 ・ウォームビズの推進	・達成率55.4%。	・44.6%増加している。社員数が増えたことが一因か。 ・無人時の消火は定着している。	☆無人時の消火の徹底・継続 ☆ウォームビズ推進の続行
②資源の循環			
1. 廃棄物の削減			
1 一般廃棄物の削減 ・節紙の徹底 ・コピー間違いの低減 ・コピー前にコピー機の設定確認	・達成率101.3%	1.8%の減少。	☆裏紙の使用等節紙の徹底 ☆コピー間違いの低減 ☆コピー前のコピー機の設定確認の励行
2 産業廃棄物の削減 ・分別廃棄物の明確化 ・分別廃棄の意識付け ・産廃の教育	・達成率58.3%	・7.8%増加している。撤去工事が多くあり増加したと思われる。 ・マニフェストの管理は出来ている。	☆分別廃棄の励行 ☆産廃教育を継続し、分別廃棄、及び廃棄物低減への意識を高める
2. 有価物の処理量の削減	・達成率106.3%		☆無駄な予備取りの低減への意識付け
③省資源			
1 水道水消費量の削減 ・節水及び漏水のチェック ・井戸水の活用	・達成率100%	本年度も、節水が良くできている。	☆使用量の記録を継続し漏水のチェックを継続
④施工及び提供する製品における環境配慮			
1 グリーン購入の推進 ・再生紙の購入率拡大	・ほぼ100%の購入	・コピー紙は全てエコ製品を購入している。	☆再生紙の購入継続 ☆低公害車への切替
⑤化学物質の維持管理			
1 使用実績の適切な把握	・減少	・残材、空き缶の保管場所の確保。	☆使用した製品に含まれる化学物質の把握
2 適切な維持管理	・決めた場所に適切に保管	・保管状況に問題なし	☆法に準拠した保管場所の確保と保管

8. 環境関連法規制等の順守状況

(1)環境関連法規等の順守状況及び評価結果

適用される法令名	順守すべき要求事項	評 価
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の適正処理	適正に処理している。
	産業廃棄物の運搬・処理業者との契約	確実に契約されている
	マニフェストの確実な管理	A～E表まで確実に管理されている
消防法（危険物）	灯油（1000L以上）・ガソリン（200L以上）の1～1／5の保管は、少量危険物保管の届出	適用外で有るが、灯油（200L）の保管管理は出来ている。
グリーン購入法	コピー紙、社有車のグリーン購入努力義務	コピー紙は再生紙を購入し、社有車も省エネ車に切り替えている。
PRTR法	塗料・シンナーの適正管理	適用外で有るが、維持管理に努めている。
フロン排出抑制法	業務用エアコンの定期的な簡易点検の実施と記録	適正に簡易点検を行い、記録している。

①当社では、ガソリンの保管は無く、灯油の保管量も最大200Lであるが、関係者の意識高揚を図るため維持管理している。

②一般廃棄物の保管場所を確保し、その掲示を實踐中。

③塗料・シンナーは、施錠できる保管庫に保管している。

(2)違反訴訟等の有無

・過去4年間にわたり違反や訴訟もなく、環境上の苦情も無し。

9. 代表者による全体の評価と見直し・指示結果

作成者： 諏訪 良介

作成日

2024年6月19日

(環境管理責任者)		(代表者)
見直しに必要な情報	コメント・提案	変更の必要性の有無・指示事項
[取組状況の評価結果] 1. 法的要求事項の順守状況について ◎廃材保管場所等の掲示できている。 2. 是正及び予防処置の状況について ◎消火器の設置場所の掲示もできている。 3. 前回までの指摘事項の改善他について ◎修正済み。	[環境経営方針について] ◎建設業者向けガイドライン2017年版に従い、施工及び提供する製品における追加した環境経営配慮の項目の検証が必要。 ・グリーン購入の推進	[環境経営方針について] ◎従来の項目は、来期も続行。 変更の必要性： 有 無
[環境経営目標の達成度] 1. 電気の使用量は、2.1%増加 2. ガソリンの使用量は、12.6%増加 3. 灯油の使用量は、44.6%増加 4. 水道水の使用量は、昨年から横ばい 5. 紙の購入量の記録がない。	[環境経営目標について] 電気、ガソリン、灯油の使用量は増加している。夏のエアコン使用、社員が増えたことが原因と思われる	[環境経営目標・環境経営計画について] 1. 燃費チェックを続行。 2. 灯油の使用量の記録を続行。 3. 電気の使用量の目標値は、前年度との比較値を参考に活動を続行。 4. 産廃の記録を、続行。 5. 一般廃棄物の記録表を続行。 6. 水道のメーターと電気のメーターの検針記録担当を石見元希で続行 7. 再生紙の購入率を100%を続行。 8. 化学物質の使用量の把握を続行。 変更の必要性： 有 無
[実施体制の現況] 1. 本社：電気、水道、ガソリン、軽油、資材等の購入物に関しては、良く記録されているが、グリーン購入物に関する記録が不十分になっている。産廃に関する記録もできている。 2. 各現場：客先の指導もあり、適切に処理されている		[実施体制の見直し] 本社でのグリーン購入物の把握責任者を諏訪早苗で続行する。 変更の必要性： 有 無
[周囲の変化状況] 1. 外部コミュニケーションについて ◎苦情や要請は、発生しなかった。 2. 法的要求事項の動向 ◎当社に適用される法的要求事項に変化はないと思われる。 3. その他 ◎特になし。	[システムの各要素について]	[環境経営システムの各要素について] 紙の購入時は、グリーン指定を確認する。 変更の必要性： 有 無

<総括コメント>

引き続き、ea21活動の意義と効果を教育し、無駄を減らす意識を啓発していく。

<評価内容>

適切性： 変化している周囲の状況等にEMSは適切か。

妥当性： EA21ガイドラインの要求事項に妥当か。

有効性： 継続的改善及び順法性の確保等に有効か。